
プログラム

1日目（2017年7月1日：土）

参加受付

8:00-8:50

開会

8:50-9:00

第1部 第14回研究会

司会：若宮 英司（藍野大学、大阪医大LDセンター）

9:00-10:30 発達性ディスレクシアの定義・症状・評価と鑑別

宇野 彰（筑波大学人間系）

10:45-12:15 発達性ディスレクシア児・者の支援方法、合理的配慮

室橋 春光（札幌学院大学人文学部）

12:15-13:30 休憩・昼食（事務連絡）

基調講演

司会：宇野 彰（筑波大学人間系）

13:30-14:25 “GraphoGame”: Serious game makes learning enjoyable and successful to children struggling while acquiring the basic reading skills

14:25-14:30 休憩

14:30-15:30 How to identify early enough children in need of support for learning the basic reading skill?

Prof. Heikki Lyytinen

(UNESCO Chairholder/professor on Inclusive Literacy Learning for All
Dept. of Psychology & Agora Center University of Jyväskylä, Finland)

15:30-15:45 休憩

第2部 研究会

研究発表 1

座長：春原則子（目白大学保健医療学部）

15:45-16:15

小学1年生を対象としたRTIモデルに基づく音読指導

赤尾 依子（大阪医科大学小児科）

16:15-16:45

RTIモデルによるひらがな音読支援～第3層指導対象児の背景と指導効果～

関あゆみ（北海道大学大学院教育学研究院）

16:45-17:15

単一文字に対する事象関連電位—N170の側性化は文字への注意に依存する—

宇野 智己（北海道大学大学院教育学院）

18:30-20:30

懇親会（島根県有形文化財 興雲閣）

2日目（2017年7月2日：日）

参加受付

8:30-9:00

第3部 研究会

研究発表2

座長：関 あゆみ（北海道大学大学院教育学研究院）

9:00-9:30

ディスレクシアの診断を有する児童生徒における不登校の背景要因の検討

仲嶺実甫子（平谷こども発達クリニック）

9:30-10:00

幼児期より療育を受け、就学後にDDと診断される児童

山名寿美子（平谷こども発達クリニック）

10:00-10:30

発達性ディスレクシア児の知的能力と稻垣式音読検査課題による読みの流暢性の比較・検討

榎智史（平谷こども発達クリニック）

10:30-10:45 休憩

研究発表 3

座長：河野 俊寛（金沢星稜大学人間科学部）

10:45-11:15

学童期における文法能力の発達的変化について：小児構文検査による検討

岩田みちる（北海道大学大学院教育学院）

11:15-11:45

発達性ディスレクシアに特化した和文書体の要件定義と作成

朱心茹（東京大学大学院教育学研究科）

11:45-12:15 休憩・昼食（事務連絡）

12:15-12:55 総会

研究発表 4

座長：繩手 雅彦（島根大学大学院総合理工学研究科）

12:55-13:25

モーラ基本説と音韻性ディスレクシア：生物学的基盤の一考察

片田 房（早稲田大学理工学術院）

13:25-13:55

WAVES の妥当性

奥村智人（大阪医科大学LDセンター）

13:55-14:25

ひらがな・漢字読み障害における WAVES の得点傾向

富永絵理子（ジョイビジョン京田辺、大阪医科大学 LD センター）

14:25-14:40 休憩

研究発表 5

座長：奥村智人（大阪医科大学 LD センター）

14:40-15:10

視覚障害教育における個々の詳細な実態把握と手立てを発達障害、知的障害等、広範な特別支援教育へ活用し、多様な場面の実践で生かしていくために

刀禰 豊（岡山県立岡山東支援学校）

15:10-15:40

機械学習を用いた手書き漢字の自動正誤判定システム開発の検討

宮下知也（島根大学大学院総合理工学研究科）

15:40-16:10

機械学習を組み込んだ非語の音声認識の開発

多々納 俊治（出雲医療看護専門学校）

閉会挨拶

16:10-16:20 宇野 彰（筑波大学大学院人間総合科学研究科）